

学 校 で 行 な う

赤 十 字 救 急 法

児童・生徒のための BLS短時間プログラム



日本赤十字社では、学校の授業時間にあった
BLS（一次救命処置）短時間プログラムを
提供しています。



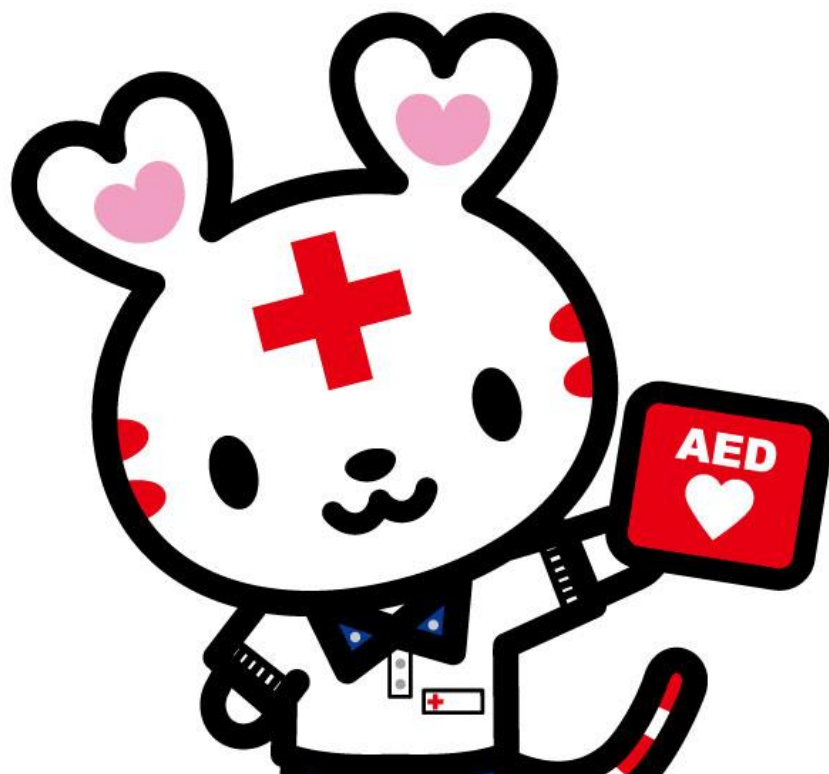
日本赤十字社 長野県支部
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社では、「苦しんでいる人を救いたい」という思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康を守る」という使命を掲げて、講習を通して救急法等の普及に取り組んでいます。

「苦しんでいる人を救いたい」という想いは、誰もが持っている優しい心から発現しています。赤十字救急法は、その優しさを行動に移す自信と勇気を持っていただけるように、けがや病気に対する正しい手当の知識と技術をお伝えするとともに、けがや病気、災害から自分自身を守る姿勢を身につけてもらうものです。けがや病気によっては、直ちに手当を行わなければ生命にかかわることが少なくありません。とっさのときに、家族やまわりにいる人が迅速かつ適切に手当を行うことにより、救命率の向上やその後の社会復帰に大きく影響を与えます。

今回、ご紹介する「児童・生徒のための BLS 短時間プログラム」は、この赤十字救急法を広く若年層に普及するため、学校の授業時間にあわせて実施できるよう作成されたものです。

このプログラムを一人でも多くの児童・生徒に受講していただき、国内における救命率が更に向上することを、日本赤十字社は心から願っています。





どのようなプログラムですか？

児童・生徒が、一次救命処置の必要性和手順について、実技を通して体験し、他者への思いやりやいのちの大切さを学習するプログラムです。

県内では、保健体育の授業に導入している学校、運動部の生徒を対象に部活前に実施する学校など、様々な学校が本プログラムを活用しています。

例１）長野市立中条中学校

毎年、全校生徒（約 25 名）を対象に、保健体育の授業時間に実施しています。



例２）長野市立櫻ヶ岡中学校

毎年、中学２年生を対象に、保健体育の授業時間に実施しています。





どのようなカリキュラムですか？

対 象		小学生（中・高学年）		中学生・高校生	
時 間		1 単元 (45 分)	2 単元 (90 分)	1 単元 (50 分)	2 単元 (100 分)
【導入】 予防 ・「命の大切さ」を理解する		※	※	※	※
救命の連鎖 ・救命の連鎖を理解する		※	※	※	※
一 次 救 命 処 置	周囲の観察 ・ 自己の安全確保を優先する	●	●	●	●
	傷病者の観察 ・ 傷病者の状態を観察する	●	●	●	●
	反応（意識）の確認 ・ 反応（意識）を確認する	●	●	●	●
	協力者を求める ・ 大きな声で、協力者を呼ぶ	●	●	●	●
	呼吸の確認 ・ 呼吸を確認することで心停止を 判断することを理解する	●	●	●	●
	胸骨圧迫（Ａ） ・ 胸骨圧迫の重要性を理解し、 できるようにする	●	●	●	●
	気道確保と人工呼吸（Ｂ） ・ 気道確保と人工呼吸の重要性を 理解する	※	○	※	●
	（Ａ）と（Ｂ）繰り返し	※	○	※	●
	A E Dの使用 ・ A E Dがどのような器械か理解 する	※（○）	※（●）	※（○）	※（●）
	心肺蘇生の継続	※	●	※	●
【結び】 ・ 迅速な行動が命を救うことを理解する		※	※	※	※

●：実施（実技）による理解

○：例示（デモンストレーション）による理解

※：説明による理解



プログラムの指導者は誰ですか？

赤十字救急法指導員を学校に派遣します。

赤十字救急法指導員とは…

応急手当などの方法を広く一般に普及するための知識と技術を有し、日本赤十字社が指導員として認定している方です。

当支部には赤十字施設の職員指導員やボランティア指導員が約 230 名在籍しており、主催者の要望に応じて県内どこへでも出向きます。



プログラムに必要な資材は？

次の資材を当支部から貸出ます。

※学校で用意していただく資材はございません。

1. 指導員用

- ・ 訓練人形（リトルアン）
- ・ AED トレーナー



2. 児童・生徒用

ア. 児童・生徒が個々に学ぶタイプ

- ・ 訓練人形（ミニアン）

※参考：1 ページ目 長野市立中条中学校



イ. 児童・生徒がグループ（4～6 人）で学ぶタイプ

- ・ 訓練人形（リトルアン）
- ・ AED トレーナー

※参考：1 ページ目 長野市立櫻ヶ岡中学校





プログラムに必要な教材は？

次の教材を支部から出庫します。

使用する教材を派遣する指導員と決めてください。

※学校で用意していただく教材はございません。

教材名	料 金	イメージ図
プリント（A4） 「救命の連鎖」 「一次救命処置（BLS）」 ※メールでデータをお送りしますので、 必要部数コピーをお願いします。	無 料	
心肺蘇生・AED小冊子 「知っていれば安心です」	1 冊 53 円	
救命・応急手当ポケット小冊子 「救急法の基礎知識」	1 冊 53 円	
呼気吹き込み用具 「Qマスク」	1 個 157 円	



申込みの流れはどうなりますか？

1. 「赤十字講習指導員派遣申請書」の提出

開催日の2ヶ月前までに当支部あて申請書を用いてお申し込みください。

なお、申請書は当支部のホームページからダウンロードできます。

※開催希望日の資材の空き状況など確認しますので、お申込み前に電話にて当支部にご連絡ください。(TEL：026-226-2073)

2. 派遣指導員の決定

申込受付後、指導員を調整し、開催日の約2週間前に学校へ文書で回答します。

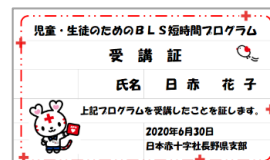
3. 派遣指導員との調整

派遣指導員と学校で直接連絡していただき、講習内容や使用する資材・教材について打ち合わせをしてください。

4. 『教材・資材出庫票』『受講者名簿』の提出

講習に必要な資材は貸出し、教材は送付しますので、「教材・資材出庫票」を当支部担当あてFAXにてご提出ください。

また、講習の最後に、各児童・生徒に受講証をお渡ししますので、「受講者名簿」(Excel形式)を当支部担当あてメールにてご提出ください。



5. 講習会の実施

講習中は児童・生徒の健康管理と事故防止に努めてください。

※講習中に事故などありましたら、必ず当支部担当までご連絡ください。

6. 教材費等の支払・資材の返却

講習終了後2週間以内に、教材費等を指定口座にお振込みください。

また、当日または翌日、講習で使用した資材の返却をお願いします。

※資材の返却にかかる送料は、学校でご負担をいただきますようお願いいたします。

【申込・問合せ先】

日本赤十字社長野県支部 事業推進課 講習担当

〒380-0836 長野市南県町 1074

TEL：026-226-2073 FAX：026-223-4181

E-mail：kousyu@nagano.jrc.or.jp



赤十字講習のご案内

「児童・生徒のためのBLS短時間プログラム」の他にも、学校教育の中で活用できるさまざまな講習を行っていますので、お問い合わせください。



救 急 法

- ・人工呼吸や胸骨圧迫などの一次救命処置
- ・熱中症など急病について
- ・三角巾などを用いたきずの手当
- ・災害時の心得について などなど…



水上安全法

- ・日常生活における水の事故
- ・海、川、プールの危険個所について
- ・水の事故が起きたら
- ・着衣泳の体験 などなど…



健康生活支援講習

- ・地域における高齢者の理解と支援について
- ・地域で支える認知症
- ・災害時における高齢者支援
- ・避難所で役立つ技術
(毛布ガウンやホットタオルの作り方など) などなど…

